

# 漁況予報 い わ し

## 第192号

【2015年11～12月漁期】

※1 平年：過去5年平均

※2 被鱗体長：口先から尾ビレの付け根までの長さ

### = 概況 =

#### 【マイワシ】

主要定置網におけるマイワシ総漁獲量は9月は200トンで、前年(46トン)及び平年<sup>※1</sup>(18トン)を大きく上回りました。続く10月は15トン(速報値)で、前年(35トン)を下回り平年<sup>※1</sup>(16トン)並でした。

まき網は、東京湾側では漁獲がありませんでした。相模湾側では1ヶ統が9月に2日間で40トンの水揚げがありましたが、10月はありませんでした。

魚体は、2ヶ月とも2015年生まれの被鱗体長<sup>※2</sup>(以下同)10～13cmの0歳魚が主体で、9月中旬までまとまった漁獲がありましたが、下旬から10月一杯は散発的な漁模様となりました。

#### 【カタクチイワシ】

主要定置網における9月のカタクチイワシ総漁獲量は14トンで、前年(25トン)を下回りましたが平年(6トン)は上回りました。10月の漁獲量(速報値)は僅か5kgで前年(2トン)及び平年(880kg)を大きく下回り皆無に等しい状況でした。

鴨居地区及び佐島地区(1ヶ統)のまき網は餌イワシとして散発的に漁獲があり、佐島地区の1ヶ統は9月に漁獲がなく、10月に8トン水揚げがありました。

#### 【シラス】

8月お盆休み明けから全く漁の無くなってしまった相模湾のシラス漁ですが、9月に入っても漁獲水準は上向かないまま推移し、湾全体での漁獲量(標本船データより推定)は前年及び平年を大きく下回りました(前年比0.3倍、平年比0.2倍)。

10月も暫く不漁傾向で推移しましたが、20日過ぎから全域で7月以降の不漁から一転、新規加入群の来遊とともに秋シラスの漁期入りとなりました(前年比1.3倍、平年比1.2倍)。

前号でもお知らせしましたように、お盆明け以降の不漁は急潮による影響が大きかったと思われませんが、9月も断続的に潮の速い状態が続いたことが漁の上向かなかった要因の一つと考えられます。9月下旬以降、北上流路が徐々に相模湾から離岸する流型となったことで、相模湾への沖合系水の波及度合いが弱まり、シラスが滞留しやすくなったことで漁期入りに繋がったものと思われま

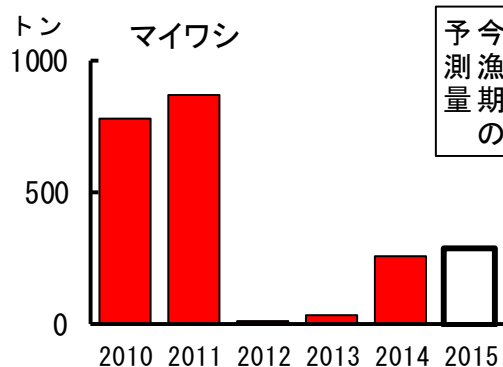
# = 予 報 =

過去5年の11・12月漁期の漁獲量と  
今漁期の予測量

## 【マイワシ】

今漁期は、2015年生まれの小中羽マイワシ（12～14cm）が漁獲の主体となるでしょう。

今漁期の漁獲量は、春季のマシラスの漁獲状況から、前年並の約287トンと予測されます。これに三陸海域からの南下群が加われば、更なる漁獲が期待できます。

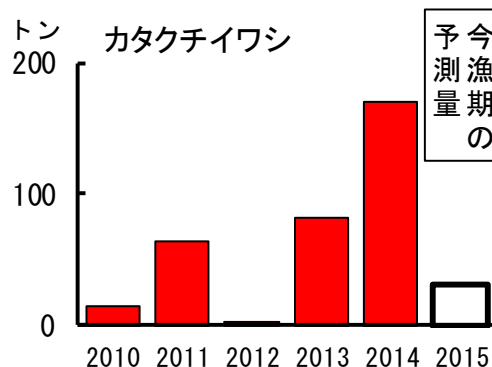


※グラフ縦軸：主要定置網+まき網

## 【カタクチイワシ】

今漁期は、2015年生まれの小型成魚（6～8cm）が漁獲の主体となるでしょう。

この時期の小型成魚は、夏シラスが成長したものだと思われ、今漁期の漁獲量は、7、8月のカタクチシラスの漁獲状況から、前年を大きく下回る約30トンと予測されます。

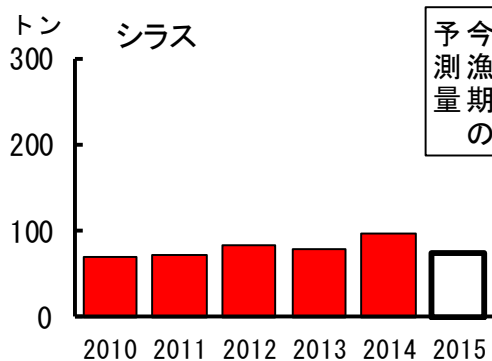


※グラフ縦軸：主要定置網+まき網

## 【シラス】

今漁期は、カタクチシラス主体に11月はウルメシラスが、12月にはマシラスが僅かに混獲されるでしょう。

今漁期は、グラフからもわかるように100トン未満で横ばい状態がここ数年継続しています。今漁期は約74トンと予測されます。



神奈川県水産技術センター企画資源部  
三浦市三崎町城ヶ島 (046) 882-2313



2015年10月21日に相模湾の定置網に入網したマイワシ  
(例年と比べ2 cm程度小さい)